

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 2 月 1 7 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 6 5 6 8 5
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 3 6 5 6 8 5]

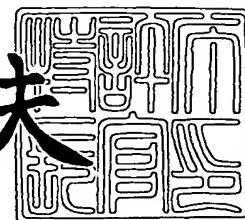
出 願 人 株式会社リコー
Applicant(s):



2 0 0 3 年 1 1 月 2 6 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 0209355

【提出日】 平成14年12月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 コンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法
、及びコンテンツ流通支援プログラム

【請求項の数】 36

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中央区銀座7丁目11番15号 リコーヒューマ
ンクリエーツ株式会社 内

 【氏名】 鈴木 章

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【氏名又は名称】 株式会社 リコー

 【代表者】 桜井 正光

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 003724

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツサーバが設けられ、

前記コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコンテンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援システムであって、

前記コンテンツサーバは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記コンテンツサーバからの配信状況に関する情報に基づいて前記記憶手段に記憶された端末を選択し他の端末への配信を行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記記憶手段は、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する識別情報と共に、前記端末の通信状況に関する情報を把握してその情報を記憶し、

前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末を選択して行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 3】 請求項 1、2 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記他の端末には表示手段を有し、

前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を前記表示手段に表示して行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 4】 請求項 3 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記表示手段に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報を合わせて表示する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 5】 請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信監視手段を有し、

前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づき選択を行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 6】 請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、

前記読み出し専用の記憶領域に前記コンテンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを格納し、

前記書き換え可能な記憶領域に予納金額の記憶部を設けると共に、

前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減算または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 7】 請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記減算または加算される金額を任意に定める金額設定手段を有する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 8】 請求項 7 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記金額設定手段で定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じる

ことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 9】 請求項 7 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記金額設定手段で定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じることを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 10】 請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、

前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信監視手段を有し、

前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づき選択を行うと共に、

前記金額設定手段は前記加算される金額を、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサイズに応じて分割して定めることを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 1 1】 請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツの再生を可能にするためのプログラムを設けることを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 1 2】 請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記配信されるコンテンツに電子透かしを付加する付加手段を有し、前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行うことを特徴とするコンテンツ流通支援システム。

【請求項 1 3】 コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコンテンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援方法であって、

前記コンテンツの配信を受けた端末のアドレスが前記コンテンツサーバに記憶され、

前記コンテンツサーバからの配信状況に関する情報に基づいて前記コンテンツサーバに記憶された端末を選択し他の端末への配信を行うことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 4】 請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記コンテンツサーバは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報と共に、該端末の通信状況を把握してその情報を記憶し、

前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末から選択して行うことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 5】 請求項 1 3、1 4 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援方法において、

前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を表示し

て行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 6】 請求項 1 5 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記他の端末に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報を含わせて表示する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 7】 請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視し、

該通信が中断されたときは、再度前記コンテンツサーバに記憶された端末を選択し他の端末への配信を行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 8】 請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、

前記読み出し専用の記憶領域に前記コンテンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを設け、

前記書き換え可能な記憶領域に予納金額の記憶部を設けると共に、

前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減算または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 1 9】 請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記減算または加算される金額は任意に定められる

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 0】 請求項 1 9 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記任意に定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じて定める

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 1】 請求項 1 9 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記任意に定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じて定める
ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 2】 請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を
監視し、

該通信が中断されたときは、再度前記コンテンツサーバに記憶された端末に関
する情報に基づき選択し他の端末への配信を行うと共に、前記加算される金額を
、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサ
イズに応じて分割して加算する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 3】 請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツを再生するためのプ
ログラムを設け、

前記記録媒体と共に用いるときのみ、前記コンテンツの再生を可能にする
ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 4】 請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、
前記配信されるコンテンツには電子透かしを付加し、
前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行う
ことを特徴とするコンテンツ流通支援方法。

【請求項 2 5】 コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信
を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコン
テンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援プログ
ラムであって、

前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報を前記コンテンツサーバに記
憶する記憶処理ステップを有し、

前記コンテンツサーバからの配信状況に基づいて前記記憶手段に記憶された端
末に関する情報に基づいて選択し他の端末への配信を行う

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 2 6】 請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、
前記記憶処理ステップは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報と共に、前記端末の通信状況を把握してその情報を記憶し、
前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末から選択して行う
ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 2 7】 請求項 2 5、2 6 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、
前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を表示する表示処理ステップを用いて行う
ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 2 8】 請求項 2 7 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、
前記他の端末に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報の記入エリアを設ける
ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 2 9】 請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、
前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信を監視する通信監視処理ステップを有し、
前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づいて選択を行う
ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 0】 請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、
読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、
前記読み出し専用の記憶領域に前記コンテンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを設け、
前記書き換え可能な記憶領域に予納金額に関する情報の記憶部を設けると共に、
前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減算または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶す

る処理ステップを有する

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 1】 請求項 3 0 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記減算または加算される金額を任意に定める金額設定処理ステップを有することを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 2】 請求項 3 1 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記金額設定処理ステップで定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じる

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 3】 請求項 3 1 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記金額設定処理ステップで定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じる

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 4】 請求項 3 0 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信監視処理ステップを有し、

前記通信監視処理ステップにより前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶処理ステップで記憶された端末に関する情報の選択を行うと共に、

前記金額設定処理ステップは前記加算される金額を、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサイズに応じて分割して定める

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 5】 請求項 3 0 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツを再生するためのプログラムを設け、

前記記録媒体と共に用いるときのみ、前記コンテンツの再生を可能にする

ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【請求項 3 6】 請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記配信されるコンテンツに電子透かしを付加する付加処理ステップを有し、

前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行う
ことを特徴とするコンテンツ流通支援プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば著作権の設定されたデジタルコンテンツの流通に当って、コンテンツの円滑な配信及びシステムの運用を行うことができるようにしたコンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

デジタルコンテンツの配信を行う場合に、従来から利用されているコンテンツサーバから配信を行う方法では、例えば任意のコンテンツに配信の要求が集中した場合などに、伝送量が過大になって迅速な配信を行うことができなくなる恐れがある。これに対して、特許文献 1 に開示された技術では、例えばコンテンツサーバから配信を受けた一の端末が、他の端末にいわゆるピアツーピア通信による配信を行うことによって、配信の環境を改善することができるものである。

【0 0 0 3】

ところが、従来のピアツーピア通信による配信では、複製されたコンテンツの再配信が容易に行われてしまうなど、特に著作権の設定されたコンテンツの流通には不適當なものであった。これに対して、上述の特許文献 1 では、くじを付けるなどの手段で、適法な配信が促されるようにしているものである。しかしこの方法は、使用者の善意に頼るものであり、悪意の使用者による違法な複製等を防ぐことができなかった。

【0 0 0 4】

また、著作権の設定されたコンテンツの流通を支援するシステムとして、特許文献 2 に開示された技術では、例えばコンテンツサーバから配信を受けた一の端末が、他の端末にピアツーピア通信による配信を行うと、所定の金額を利用料として一の端末の所有者に支払い、例えばコンテンツサーバから配信を受ける際に

支払われる金額を相殺することで使用者に確実に利益を与え、適法な配信が促されるようにしている。

【0 0 0 5】

しかし、特許文献 2 に記載の技術では、端末からの配信による流通を行う際には、コンテンツサーバへの登録を必要とするなど、煩雑な手続きが要求されるものである。また、課金の徴収に当たっても、別途の手続き等が必要となり、例えば銀行取引やクレジットカード等が用いられるために、特に、若年層等のように、このような取引を容易に行えない利用者を対象とするコンテンツの流通においては、円滑に実施できるものではなかった。

【0 0 0 6】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 2 6 9 3 8 6 号

【特許文献 2】

特開 2 0 0 2 - 2 6 9 4 6 1 号

【0 0 0 7】

【発明が解決しようとする課題】

すなわち、上述した方法では、デジタルコンテンツの配信の環境を改善することができるとは言えるものの、利用者に登録等の煩雑な手続きや、また課金の徴収に当たっては別途の手続きが要求されるなど、問題が十分に解決されているとは言えないものであった。

【0 0 0 8】

本発明は上記の問題点に鑑みてなされたもので、デジタルコンテンツの配信を良好に行うことのできるコンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラムを提供することを目的とする。

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

本発明の課題を解決するため、請求項 1 に記載した発明は、コンテンツサーバが設けられ、前記コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコン

テンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援システムであって、前記コンテンツサーバは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報を記憶する記憶手段と、前記コンテンツサーバからの配信状況に関する情報に基づいて前記記憶手段に記憶された端末を選択し他の端末への配信を行うものである。

【0 0 1 0】

請求項 2 に記載した発明は、請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記記憶手段は、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する識別情報と共に、前記端末の通信状況に関する情報を把握してその情報を記憶し、前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末を選択して行うものである。

【0 0 1 1】

請求項 3 に記載した発明は、請求項 1、2 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記他の端末には表示手段を有し、前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を前記表示手段に表示して行うものである。

【0 0 1 2】

請求項 4 に記載した発明は、請求項 3 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記表示手段に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報を合わせて表示するものである。

【0 0 1 3】

請求項 5 に記載した発明は、請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信監視手段を有し、前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づき選択を行うものである。

【0 0 1 4】

請求項 6 に記載した発明は、請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、前記読み出し専用の記憶領域に前記コン

テンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを格納し、前記書き換え可能な記憶領域に予納金額の記憶部を設けると共に、前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減算または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶するものである。

【 0 0 1 5 】

請求項 7 に記載した発明は、請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記減算または加算される金額を任意に定める金額設定手段を有するものである。

【 0 0 1 6 】

請求項 8 に記載した発明は、請求項 7 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記金額設定手段で定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じることを特徴とするコンテンツ流通支援システムである。

【 0 0 1 7 】

請求項 9 に記載した発明は、請求項 7 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記金額設定手段で定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じるものである。

【 0 0 1 8 】

請求項 1 0 に記載した発明は、請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信監視手段を有し、前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づき選択を行うと共に、前記金額設定手段は前記加算される金額を、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサイズに応じて分割して定めるものである。

【 0 0 1 9 】

請求項 1 1 に記載した発明は、請求項 6 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツの再生を可能にするためのプログラムを設けるものである。

【 0 0 2 0 】

請求項 1 2 に記載した発明は、請求項 1 に記載のコンテンツ流通支援システムにおいて、前記配信されるコンテンツに電子透かしを付加する付加手段を有し、前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行うものである。

【0 0 2 1】

また、本発明の課題を解決するため、請求項 1 3 に記載した発明は、コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコンテンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援方法であって、前記コンテンツの配信を受けた端末のアドレスが前記コンテンツサーバに記憶され、前記コンテンツサーバからの配信状況に関する情報に基づいて前記コンテンツサーバに記憶された端末を選択し他の端末への配信を行うものである。

【0 0 2 2】

請求項 1 4 に記載した発明は、請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記コンテンツサーバは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報と共に、該端末の通信状況を把握してその情報を記憶し、前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末から選択して行うものである。

【0 0 2 3】

請求項 1 5 に記載した発明は、請求項 1 3、1 4 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援方法において、前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を表示して行うものである。

【0 0 2 4】

請求項 1 6 に記載した発明は、請求項 1 5 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記他の端末に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報を合わせて表示するものである。

【0 0 2 5】

請求項 1 7 に記載した発明は、請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視し、該通信が中断されたときは、再度前記コンテンツサーバに記憶された端末を選択し他の端末への配信を行うものである。

【 0 0 2 6 】

請求項 1 8 に記載した発明は、請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、前記読み出し専用の記憶領域に前記コンテンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを設け、前記書き換え可能な記憶領域に予納金額の記憶部を設けると共に、前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減算または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶するものである。

【 0 0 2 7 】

請求項 1 9 に記載した発明は、請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記減算または加算される金額は任意に定められるものである。

【 0 0 2 8 】

請求項 2 0 に記載した発明は、請求項 1 9 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記任意に定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じて定めることを特徴とするコンテンツ流通支援方法である。

【 0 0 2 9 】

請求項 2 1 に記載した発明は、請求項 1 9 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記任意に定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じて定めるものである。

【 0 0 3 0 】

請求項 2 2 に記載した発明は、請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視し、該通信が中断されたときは、再度前記コンテンツサーバに記憶された端末に関する情報に基づき選択し他の端末への配信を行うと共に、前記加算される金額を、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサイズに応じて分割して加算するものである。

【 0 0 3 1 】

請求項 2 3 に記載した発明は、請求項 1 8 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツを再生するた

めのプログラムを設け、前記記録媒体と共に用いるときのみ、前記コンテンツの再生を可能にするものである。

【0 0 3 2】

請求項 2 4 に記載した発明は、請求項 1 3 に記載のコンテンツ流通支援方法において、前記配信されるコンテンツには電子透かしを付加し、前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行うものである。

【0 0 3 3】

また、本発明の課題を解決するため、請求項 2 5 に記載した発明は、コンテンツサーバからネットワークを通じてコンテンツの配信を行うと共に、前記コンテンツの配信を受けた一の端末から前記配信されたコンテンツをさらに他の端末に配信することを可能としたコンテンツ流通支援プログラムであって、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報を前記コンテンツサーバに記憶する記憶処理ステップを有し、前記コンテンツサーバからの配信状況に基づいて前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づいて選択し他の端末への配信を行うものである。

【0 0 3 4】

請求項 2 6 に記載した発明は、請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記記憶処理ステップは、前記コンテンツの配信を受けた端末に関する情報と共に、前記端末の通信状況を把握してその情報を記憶し、前記他の端末への配信は、前記通信状況の近似する端末から選択して行うものである。

【0 0 3 5】

請求項 2 7 に記載した発明は、請求項 2 5、2 6 のいずれかに記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記選択は、前記他の端末に配信を可能とする前記一の端末の一覧表を表示する表示処理ステップを用いて行うものである。

【0 0 3 6】

請求項 2 8 に記載した発明は、請求項 2 7 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記他の端末に表示される一覧表には、前記一の端末からの任意の付加価値情報の記入エリアを設けるものである。

【0 0 3 7】

請求項 2 9 に記載した発明は、請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記コンテンツサーバは、前記選択された一の端末と他の端末との通信を監視する通信監視処理ステップを有し、前記通信監視手段により前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶手段に記憶された端末に関する情報に基づいて選択を行うものである。

【 0 0 3 8 】

請求項 3 0 に記載した発明は、請求項 2 5 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、読み出し専用の記憶領域あるいは書き換え可能な記憶領域の少なくともいずれか一方を有する記憶媒体を用い、前記読み出し専用の記憶領域に前記コンテンツサーバにネットワークを通じてアクセスするためのプログラムを設け、前記書き換え可能な記憶領域に予納金額に関する情報の記憶部を設けると共に、前記コンテンツの配信または受信に応じて前記予納金額から任意の金額を減額または加算し、前記減算または加算された金額を前記予納金額の記憶部に記憶する処理ステップを有するものである。

【 0 0 3 9 】

請求項 3 1 に記載した発明は、請求項 3 0 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記減算または加算される金額を任意に定める金額設定処理ステップを有するものである。

【 0 0 4 0 】

請求項 3 2 に記載した発明は、請求項 3 1 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記金額設定処理ステップで定められる金額は、前記コンテンツの配信または受信の頻度に応じるものである。

【 0 0 4 1 】

請求項 3 3 に記載した発明は、請求項 3 1 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記金額設定処理ステップで定められる金額は、前記コンテンツの配信の期間に応じるものである。

【 0 0 4 2 】

請求項 3 4 に記載した発明は、請求項 3 0 に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記選択された一の端末と他の端末との通信状況を監視する通信

監視処理ステップを有し、前記通信監視処理ステップにより前記通信の中断が判別されたときは、再度前記記憶処理ステップで記憶された端末に関する情報の選択を行うと共に、前記金額設定処理ステップは前記加算される金額を、前記通信が中断されるまでのコンテンツサイズと中断された後のコンテンツサイズに応じて分割して定めるものである。

【0043】

請求項35に記載した発明は、請求項30に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記読み出し専用の記憶領域に前記配信されたコンテンツを再生するためのプログラムを設け、前記記録媒体と共に用いるときのみ、前記コンテンツの再生を可能にするものである。

【0044】

請求項36に記載した発明は、請求項25に記載のコンテンツ流通支援プログラムにおいて、前記配信されるコンテンツに電子透かしを付加する付加処理ステップを有し、前記電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行うものである。

【0045】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施形態であるコンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラムについて、図面を参照して説明する。

【0046】

すなわち図1は、本発明によるコンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラムを、いわゆるインターネットを利用したコンテンツの配信システムに適用した場合の、全体のシステム構成を表したブロック図である。

【0047】

図1において、インターネット1を介してコンテンツサーバとなる配信センター2と複数の利用者端末3A、3B・・・3nが相互に接続される。さらにインターネット1には、著作権者であるコンテンツホルダーの端末4と、初期の利用

者の登録や直販等を行うための店頭端末 5 も接続されている。また、店頭端末 5 の設けられた販売店（図示せず）にて、所定の記録メディア 6 が販売される。

【0048】

さらに、配信センター 2 には、専用線 7 を介してクレジットカードセンター等の金融機関 8 が接続される。この金融機関 8 は、例えば利用者による料金補充がインターネット 1 を通じて行われる場合などに用いられるもので、その通知等が専用線 7 を介して行われる。また、この専用線 7 を通じては、コンテンツホルダーの端末 4 と配信センター 2 との間での新規のコンテンツの配信等も行われる。

【0049】

そして配信センター 2 には、以下の構成が設けられる。

【0050】

すなわち、配信センター 2 には、アクセスキーの認証などの利用者のログインの制御及びピアツーピア通信のリンクに関わる処理を行うアクセス制御部 21 と、利用者ごとの設定に基づくリストの作成を行うリスト作成部 22 と、著作権利権者から委託されたコンテンツの原本性の保証及び暗号化と付加情報処理のためのエンコードを行うコンテンツ処理部 23 が設けられる。

【0051】

また、配信センター 2 には、課金データ処理部 24 が設けられる。この課金データ処理部 24 では、受信終了及び中断後の料金の引き落としと送信終了及び中断後の料金蓄積、ダウンロード履歴のないコンテンツの再生の際の料金引き落とし、利用者端末側の課金データとの整合処理、金融機関 8 との間での利用者の予納金額の補充に関する決済処理等が行われる。

【0052】

また、配信センター 2 には、要求コンテンツの配信先の最適化や配信センター 2 自らのアップロードの実行、利用者端末の配信可能コンテンツの集約等を行うデータ処理部 25 と、利用者端末側の履歴データとの整合処理を行う履歴データ処理部 26 が設けられる。

【0053】

また、配信センター 2 には、利用者端末の稼働率、回線帯域情報、送受信状況

等を把握するためのハートビート通信の受信処理を行うハートビート処理部 2 7 と、送受信の中断による利用者端末の再試行やピアツーピア通信のリンク先の変更等の処理を行うレジューム処理部 2 8 と、コンテンツに関する利用者の評価等の情報や掲示板等の処理を行う付加情報処理部 2 9 が設けられる。

【0 0 5 4】

また、配信センター 2 には、ストレージ装置 2 0 が接続される。このストレージ装置 2 0 には、利用者情報のデータベースやコンテンツ情報のデータベース、利用者配信可能コンテンツのデータベース、店舗情報のデータベース、配信実績のデータベース等が記憶される。

【0 0 5 5】

一方、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれ以下の構成が設けられる。

【0 0 5 6】

すなわち、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれ記録メディア 6 の挿入時のパスワードの認証や記録メディア 6 の原本性の確認と担保、専用書き込みエンジン、格納データの排他制御等を行う外部記憶装置制御部 3 1 と、配信サーバ（センター 2）へのアクセスキーの送信によるログインや保有コンテンツリスト及び料金情報の送信、コンテンツの保有者情報の要求及び配信要求を行うアクセス処理部 3 2 が設けられる。

【0 0 5 7】

また、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれコンテンツリストの表示及びリストのカスタマイズの要求、配信コンテンツの書き込み、読み出しを行うデータ処理部 3 3 と、受信終了及び中断後の料金の引き落としと送信終了及び中断後の料金蓄積、ダウンロード履歴のないコンテンツの再生の際の料金引き落とし等を行う課金データ処理部 3 4 が設けられる。

【0 0 5 8】

また、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれピアツーピア通信のリンク先情報の受領とピアツーピア通信リンクの確立を行う P 2 P リンク処理部 3 5 と、配信サーバ（センター 2）への接続日時の更新やダウンロード／アップロ

ードの開始／中断／終了日時の追記、店頭購入コンテンツの日時の追記、ダウンロード／アップロードの中断時の配信サーバ（センター 2）側履歴との整合等の処理を行う履歴データ処理部 3 6 が設けられる。

【 0 0 5 9 】

また、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれ利用者端末の稼働率、回線帯域情報、送受信状況等を定期的を送信するためのハートビート処理部 3 7 と、不完全コンテンツのコンペアーと補完処理を行うレジューム処理部 3 8 と、コンテンツの原本性及び記録メディア 6 の原本性の確認、履歴データの参照、ダウンロード履歴がない場合の課金データ処理部 3 4 への料金の引渡しとコンテンツの再生を行うコンテンツ再生処理部 3 9 が設けられる。

【 0 0 6 0 】

なお、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n には、それぞれハードディスクドライブ 3 0 が設けられて、上述の各処理部でのデータの保存が行われる。

【 0 0 6 1 】

さらに、記録メディア 6 には、以下の構成が設けられる。

【 0 0 6 2 】

すなわち、記録メディア 6 には、読み出し専用メモリ（Read Only Memory：以下、ROM と略称する）と読み書き可能メモリ（Random Access Memory：以下、RAM と略称する）の領域が設けられる。なお、このような ROM 領域と RAM 領域を有する記録メディア 6 は、例えば異なる特性の領域が設けられるディスクにて実現することができる。

【 0 0 6 3 】

この記録メディア 6 の ROM 領域には、図 2 の A に示すように、原本認証処理部、原本性チェック部を含む原本性保証のための機能（エンジン）と、サーバアクセス処理部、ピアツーピアリンク処理部、課金情報処理部、その他の設定、利用者情報等を含むコンテンツの送受信のためのソフトウェアと、ダウンロード履歴チェック部、再生処理部、課金情報処理部を含むコンテンツの再生のためのソフトウェアが設けられている。

【 0 0 6 4 】

また、記録メディア 6 の R A M 領域には、図 2 の B に示すように、一意の認証コードであるアクセスキーと、課金情報と、ダウンロード、アップロード、店頭購買、料金補充を含む履歴が記憶されると共に、ユーザ使用領域が設けられている。

【 0 0 6 5 】

なお、これらの R O M 領域と R A M 領域にはそれぞれ任意の記憶容量が設けられ、例えば R O M 領域の記憶容量を 3 5 0 M B 、 R A M 領域の記憶容量を 3 0 0 M B とすることができる。ただし、この値も任意である。また、R A M 領域の構成には、書き込みが一度のみ可能とされるもの、あるいは、消去と再書き込みが自在にできる構成のものを利用することができる。

【 0 0 6 6 】

そして、利用者端末 3 A 、 3 B ・ ・ ・ 3 n の所有者は、販売店（図示せず）から購入した記録メディア 6 を利用者端末 3 A 、 3 B ・ ・ ・ 3 n に挿入することによって、本システムへの参加手続きが行われる。すなわち、上述の記録メディア 6 が、インターネット 1 に接続された利用者端末 3 A 、 3 B ・ ・ ・ 3 n に挿入されることによって、例えば図 3 のフローチャートに示すような処理が行われる。

【 0 0 6 7 】

図 3 において、記録メディア 6 が利用者端末 3 A 、 3 B ・ ・ ・ 3 n に挿入されると、ステップ〔1〕でディスクの原本性がチェックされる。ここで原本性が正しいとき（correct）は、ステップ〔2〕でパスワードの認証が行われる。そしてパスワードが正しいとき（correct）は、端末の動作が開始される。なお、ステップ〔1〕〔2〕が正しくないとき（incorrect）はステップ〔3〕で処理が中止される。

【 0 0 6 8 】

さらにステップ〔2〕でパスワードが正しいときは、ステップ〔4〕で配信サーバ（センター 2）への接続が行われる。次いでステップ〔5〕で記録メディア 6 に記録されたアクセスキー、料金情報と、端末に記憶された保有コンテンツのリストのうち、利用者によって選択されたコンテンツのリストが送信される。さらにステップ〔6〕ではハートビート通信が開始される。このハートビート通信

により、端末の通信状況等が配信サーバ（センター 2）側で把握される。

【 0 0 6 9 】

また、ステップ〔 7 〕では配信サーバ（センター 2）で作成される情報のトップページが表示される。このトップページには、配信可能なコンテンツのリスト等が表示されるものであり、そのための、コンテンツ情報の受信及び表示が行われる。またステップ〔 8 〕では配信希望コンテンツの指定が行われる。この指定は、ステップ〔 7 〕での表示を選択することによって行われる。

【 0 0 7 0 】

さらにステップ〔 9 〕で自動開始が選択されているか否か判断され、選択されていないとき（no）は、ステップ〔 1 0 〕で配信可能保有者リスト（一覧表）が受信表示され、ステップ〔 1 1 〕で配信希望保有者が選択され、ステップ〔 1 2 〕で配信サーバ（センター 2）から保有者情報が受信され、ステップ〔 1 3 〕で保有者へピアツーピアリンクが行われる。なお、ステップ〔 9 〕で自動開始が選択されているとき（yes）は、直接ステップ〔 1 3 〕へ進められる。

【 0 0 7 1 】

そしてステップ〔 1 4 〕でコンテンツのダウンロード（受信）と、現状の履歴データの更新が行われる。さらにステップ〔 1 5 〕でダウンロード（受信）が完了したか否か判断される。完了しているとき（yes）は、ステップ〔 1 6 〕で料金の引き落としと履歴データの更新が行われて処理は終了される。

【 0 0 7 2 】

また、ステップ〔 1 5 〕でダウンロード（受信）が完了していないとき（no）は、ピアツーピア通信が中断している場合である。そこでステップ〔 1 7 〕ではオートリトライが行われ、ステップ〔 1 8 〕でピアツーピア通信が復旧したか否か判断される。そして復旧したとき（yes）は、ステップ〔 1 4 〕に戻されてコンテンツのダウンロード（受信）と履歴データの更新が行われる。

【 0 0 7 3 】

一方、ステップ〔 1 8 〕でピアツーピア通信が復旧しないとき（no）は、ステップ〔 1 9 〕で配信サーバ（センター 2）への再接続が行われ、ステップ〔 2 0 〕でハードディスク 3 0 上のダウンロードの進捗状況と、現在の履歴が送信され

る。そしてステップ〔21〕で配信サーバ（センター2）側の進捗状況の履歴との整合が行われる。なお、整合処理は主に配信サーバ（センター2）側で行われる。

【0074】

すなわち、配信サーバ（センター2）側では、上述のハートビート通信により端末側の通信状況が把握されているので、配信サーバ（センター2）側の進捗状況の履歴との整合が行われることで中断されるまでに配信されたコンテンツのサイズ等が判定される。そしてステップ〔22〕で、配信されたコンテンツのサイズに応じた料金の引き落としと履歴データの更新が行われる。

【0075】

さらにステップ〔22〕の後はステップ〔9〕に戻される。これによって2度目の処理では、例えばステップ〔14〕においては中断されるまでに配信されたコンテンツは除いて、中断後のコンテンツの部分のみが受信される。また、ステップ〔16〕での料金の引き落としと履歴データの更新も、中断後のコンテンツの部分のみについて行われて処理は終了される。

【0076】

このようにして、コンテンツのダウンロード（受信）が行われる。そしてこの場合に、コンテンツの受信が中断しても、ピアツーピアの相手を変えて受信が継続されると共に、その際の料金の引き落としを受信されたコンテンツのサイズに応じて分割するので、不安定なネットワークにおいても良好なダウンロード（受信）を行うことができる。

【0077】

なお、ステップ〔18〕でピアツーピア通信が復旧しないとき（no）であって、ステップ〔19〕で配信サーバ（センター2）への再接続ができない場合には、ステップ〔19〕～〔22〕の処理は、次に配信サーバ（センター2）への接続が行われたとき実行される。

【0078】

さらに、上述の図3のフローチャートは、配信を受ける（ダウンロード）受信側の利用者端末での処理に関するものである。これに対して、配信を行う（アッ

プロード) 配信元側の利用者端末では、例えば図 4 のフローチャートに示すような処理が行われる。

【0079】

図 4 において、コンテンツのアップロード(配信)要求が受信されたときは、まずステップ〔31〕で相手先接続情報が受信される。そしてステップ〔32〕で相手先のリンクが待機され、所定時間内にリンクがないとき(timeout)はステップ〔33〕で処理中止となる。これに対して、所定時間内にリンクがあったとき(connect)は、ステップ〔34〕でコンテンツのアップロード(配信)が行われると共に、現状の履歴データの更新が行われる。

【0080】

さらにステップ〔35〕でコンテンツのアップロード(配信)が完了したか否か判断される。完了しているとき(yes)は、ステップ〔36〕で料金(配信手数料)の貯蓄と履歴データの更新が行われて処理は終了される。

【0081】

また、ステップ〔35〕でコンテンツのアップロード(配信)が完了していないとき(no)は、ピアツーピア通信が中断している場合である。そこでステップ〔37〕ではオートリトライが行われ、ステップ〔38〕で一定時間内にピアツーピア通信が復旧したか否か判断される。そして復旧したとき(yes)は、ステップ〔34〕に戻されてコンテンツのアップロード(配信)と履歴データの更新が行われる。

【0082】

一方、ステップ〔38〕でピアツーピア通信が復旧しないとき(no)は、ステップ〔39〕で配信サーバ(センター2)への再接続が行われ、ステップ〔40〕でハードディスク30上のアップロードの進捗状況と、現在の履歴が送信される。そしてステップ〔41〕で配信サーバ(センター2)側の進捗状況の履歴との整合が行われる。なお、整合処理は主に配信サーバ(センター2)側で行われる。

【0083】

すなわち、配信サーバ(センター2)側では、上述のハートビート通信により

端末側の通信状況が把握されているので、配信サーバ（センター 2）側の進捗状況の履歴との整合が行われることで中断されるまでに配信されたコンテンツのサイズ等が判定される。そしてステップ〔4 2〕で、配信されたコンテンツのサイズに応じた配信手数料の貯蓄と履歴データの更新が行われて処理は終了される。

【0 0 8 4】

このようにして、コンテンツのアップロード（配信）が行われる。そしてこの場合に、コンテンツの配信が中断された場合には、それまでに配信されたコンテンツのサイズに応じた配信手数料の貯蓄が行われるので、不安定なネットワークにおいても良好なアップロード（配信）を行うことができる。

【0 0 8 5】

なお、ステップ〔3 8〕でピアツーピア通信が復旧しないとき（no）であって、ステップ〔3 9〕で配信サーバ（センター 2）への再接続ができない場合には、ステップ〔3 9〕～〔4 2〕の処理は、次に配信サーバ（センター 2）への接続が行われたとき実行される。

【0 0 8 6】

さらに、配信サーバ（センター 2）では、例えば図 5～図 8 のフローチャートに示すような処理が行われる。

【0 0 8 7】

まず、図 5 には、利用者端末 3 A、3 B・・・3 n からのログイン要求があった場合の処理を示す。図 5 において、ログイン要求があると、ステップ〔5 1〕でコンテンツの配信を受けた端末のアドレス等を含む利用者情報データベースが参照され、ステップ〔5 2〕で利用者を認証するか否か判断される。そして認証しないとき（incorrect）はステップ〔5 3〕で接続が拒否される。

【0 0 8 8】

これに対して、ステップ〔5 2〕で利用者として認証したとき（correct）は、ステップ〔5 4〕で利用者の設定情報と利用者によって選択されたコンテンツのリスト、料金情報等が受信され格納される。そしてステップ〔5 5〕でこれらの情報に対応したコンテンツリストが作成されて送信される。さらにステップ〔5 6〕でハートビートが開始されて処理は待機モードにされる。

【0089】

また、図6には、利用者端末3A、3B・・・3nからの配信要求があった場合の処理を示す。図6において、配信要求があると、ステップ〔61〕で利用者情報データベースが参照され、ステップ〔62〕で利用者の予納料金の残高がチェックされる。そして残高が不足のとき（no）はステップ〔63〕で処理は中止され、利用者端末にアラート（警告）が送信される。

【0090】

これに対して、ステップ〔62〕で残高が足りているとき（yes）は、ステップ〔64〕で自動開始が選択されているか否か判断される。そして選択されていないとき（no）は、ステップ〔65〕で配信可能保有者リスト（一覧表）が送信され、ステップ〔66〕で配信先の指定が待機され、ステップ〔67〕で指定された配信先との間でピアツーピア通信を行うための情報が送信される。

【0091】

また、ステップ〔64〕で自動開始が選択されているとき（yes）は、ステップ〔68〕で最適配信者が選定されてステップ〔67〕へ進められる。なお、配信サーバ（センター2）側では、上述のハートビート通信により端末側の通信状況が把握されているので、通信環境等が近似する最適配信者の選定を行うことができる。そしてステップ〔67〕で情報が送信されると、配信サーバ（センター2）での処理は終了される。

【0092】

さらに、図7には、利用者端末3A、3B・・・3nでの配信が中断し、且つリトライができなかった場合の処理を示す。図7において、配信の中断し、且つリトライができなかった状況が発生すると、ステップ〔71〕でハートビート通信により直前の配信状況が検出されて格納される。そしてステップ〔72〕で該当利用者端末の再接続が行われる。

【0093】

また、ステップ〔73〕で利用者端末側の進捗状況と、そのときの履歴が受信され、配信サーバ（センター2）側の進捗状況の履歴との整合が行われる。すなわちこのステップ〔73〕は、上述のステップ〔21〕及び〔41〕の処理に相

当するものである。そしてステップ〔74〕で利用者端末側の課金データが更新されて処理は終了される。

【0094】

さらに、図8には、コンテンツの配信が終了したときの処理を示す。すなわち、図8において、コンテンツの配信が終了すると、ステップ〔81〕で利用者情報のデータベースが更新され、ステップ〔82〕で配信実績のデータベースが更新されて処理は終了される。

【0095】

なお、図9には、利用者端末に格納される課金情報と履歴のデータの構成を示す。すなわち、図9のAは課金情報であって、1欄目には一意のイベントID、2欄目にはイベントの発生日時が設けられる。また、3欄目には金額、4欄目には残高が設けられる。

【0096】

さらに、5欄目にはダウンロードやアップロード、店頭等の料金が発生した相手先の情報が設けられる。また、6欄目には予納料金の補充やダウンロード、アップロード、店頭販売による流通コンテンツの購入等の料金の発生した理由（事由）が設けられる。

【0097】

一方、図9のBは履歴であって、1欄目には一意のイベントID、2欄目にはイベントの発生日時が設けられ、これらの課金情報を同じである。また、3欄目には予納料金の補充やダウンロード、アップロード、店頭販売による流通コンテンツの購入等の事象のID、4欄目には行為の相手利用者または店舗等のIDが設けられる。

【0098】

さらに、5欄目には流通コンテンツ（アイテム）のIDが設けられる。なお、“－”はコンテンツなしの料金補充のみの意味である。また、6欄目には当該イベントにより料金が発生した場合の課金情報とのリンクIDが設けられる。

【0099】

従って、上述の実施の形態においては、コンテンツの配信を受けた端末のアド

レスがコンテンツサーバ（配信センター 2）に記憶され、コンテンツサーバからの配信状況に関する情報に基づいてコンテンツサーバに記憶された端末を選択し他の端末への配信を行うので、利用者は、登録等の煩雑な手続きを行う必要がなく、容易に再配信を行うことができる。

【0 1 0 0】

また、上述の実施の形態においては、書き換え可能な記憶領域を有する記憶媒体（記録メディア 6）を用い、書き換え可能な記憶領域に予納金額の記憶部を設けることによって、課金の予納を記録媒体の売価に含めて行うことができると共に、予納金額の追加を店頭端末 5 等により容易に行うことができ、課金の徴収を円滑に行うことができる。

【0 1 0 1】

さらに、上述の実施の形態においては、コンテンツの配信が可能な端末の一覧表を表示する際に、配信可能な端末からの任意の付加価値情報を合わせて表示することができる。すなわち上述の実施の形態においては、コンテンツの流通の管理を配信センター 2 で一元的に行うので、配信可能な端末からの任意のコメントや宣伝文、さらに他のコンテンツの保有の有無などの付加情報を一覧表に付加して表示させることも可能になるものである。

【0 1 0 2】

また、同様にして、コンテンツの受信または配信において、減算または加算される金額を任意に定めることができる。すなわち上述の実施の形態においては、コンテンツの流通の管理を配信センター 2 で一元的に行うので、上述の金額を任意に定めることができるものである。さらに、このような金額は、コンテンツの配信または受信の頻度、あるいはコンテンツの配信の期間に応じて自動的に定めることもできるものである。

【0 1 0 3】

さらに、上述の実施の形態においては、記録媒体（記録メディア 6）の読み出し専用の記憶領域に配信されたコンテンツを再生するためのプログラムを設け、記録媒体と共に用いるときのみ、コンテンツの再生が可能になるようにすることができる。これによって、記録媒体の書き換え可能な記憶領域に設けられる予納

金額の記憶部との関連を確実にすることができ、コンテンツの不正な使用を困難にして著作権の保護を良好に行うことができるものである。

【0 1 0 4】

また、上述の実施の形態においては、配信されるコンテンツには電子透かしを付加し、電子透かしの付加されたコンテンツのみの流通を行うことによって、不正なコンテンツの流通を困難にし、著作権の保護を良好に行うことができるものである。

【0 1 0 5】

なお、本発明は、上述の説明した実施の形態に限定されるものではなく、本発明の精神を逸脱することなく種々の変形が可能とされるものである。

【0 1 0 6】

【発明の効果】

本発明によれば、良好なコンテンツの配信を行うことのできるコンテンツ流通支援システム、コンテンツ流通支援方法、及びコンテンツ流通支援プログラムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明をいわゆるインターネットを利用したコンテンツの配信システムに適用した場合の全体のシステム構成を表したブロック図である。

【図 2】

その説明のための記録媒体の説明図である。

【図 3】

その処理動作の説明のための受信側のフローチャート図である。

【図 4】

その処理動作の説明のための配信側のフローチャート図である。

【図 5】

その処理動作の説明のための配信センター側のフローチャート図である。

【図 6】

その処理動作の説明のための配信センター側のフローチャート図である。

【図 7】

その処理動作の説明のための配信センター側のフローチャート図である。

【図 8】

その処理動作の説明のための配信センター側のフローチャート図である。

【図 9】

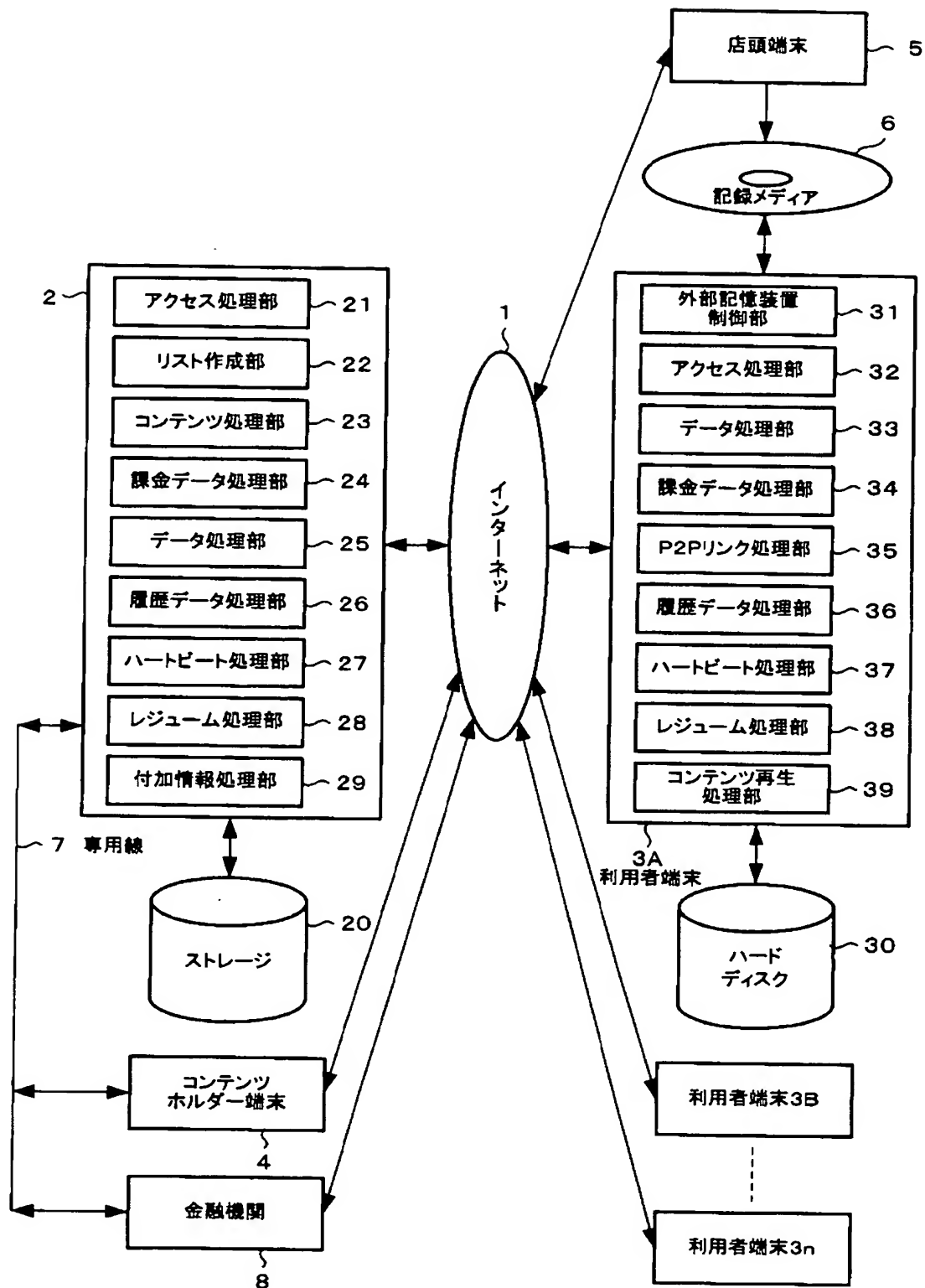
その処理動作の説明のための利用者端末に格納される課金情報と履歴のデータの構成図である。

【符号の説明】

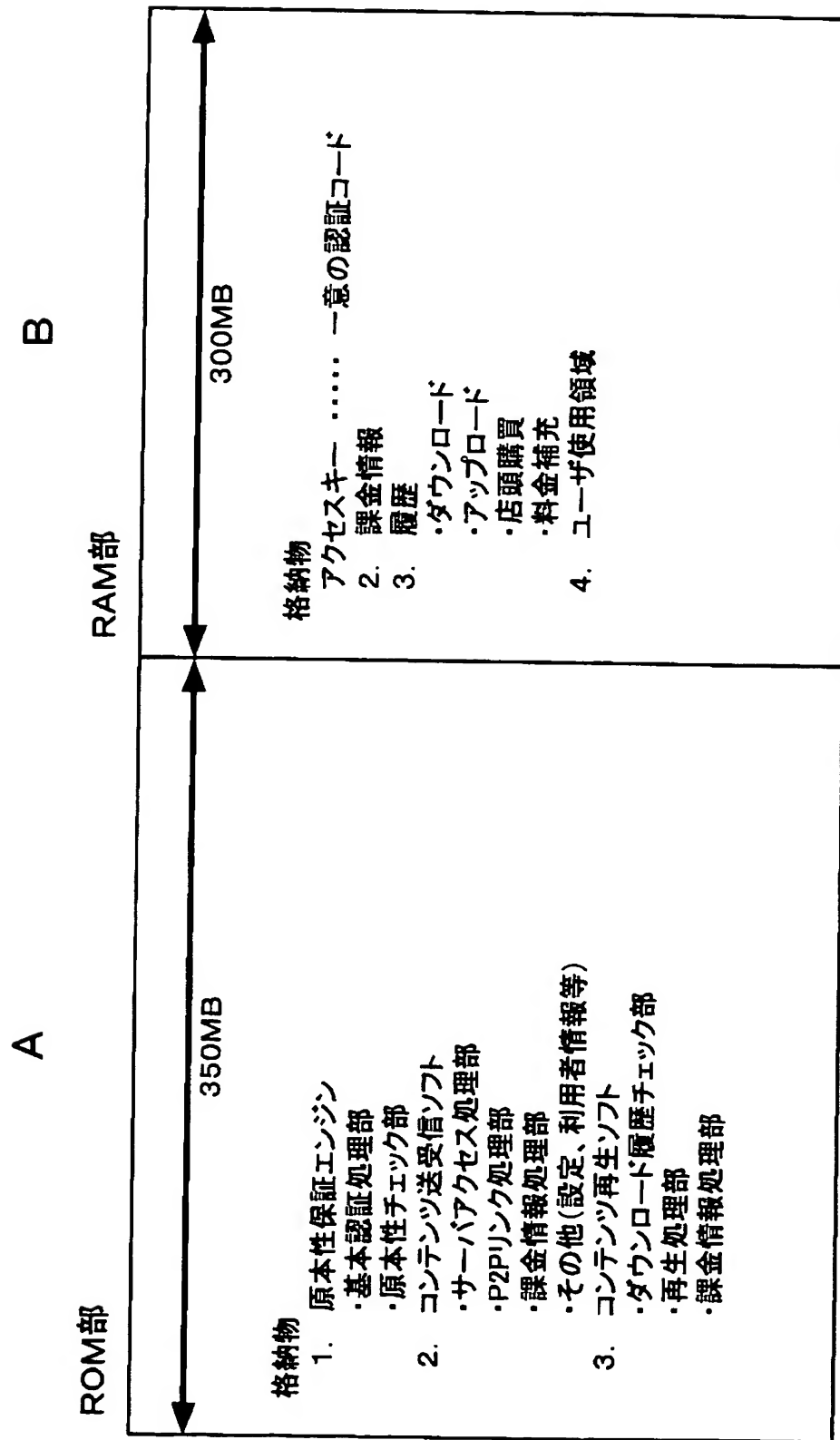
1…インターネット、2…配信センター、3 A, 3 B . . . 3 n…利用者端末、4…コンテンツホルダーの端末、5…店頭端末、6…記録メディア、7…専用線、8…金融機関、2 0…ストレージ装置、2 1…アクセス制御部、2 2…リスト作成部、2 3…コンテンツ処理部、2 4…課金データ処理部、2 5…データ処理部、2 6…履歴データ処理部、2 7…ハートビート処理部、2 8…レジューム処理部、2 9…付加情報処理部、3 0…ハードディスクドライブ、3 1…外部記憶装置制御部、3 2…アクセス処理部、3 3…データ処理部、3 4…課金データ処理部、3 5…P 2 P リンク処理部、3 6…履歴データ処理部、3 7…ハートビート処理部、3 8…レジューム処理部、3 9…コンテンツ再生処理部

【書類名】 図面

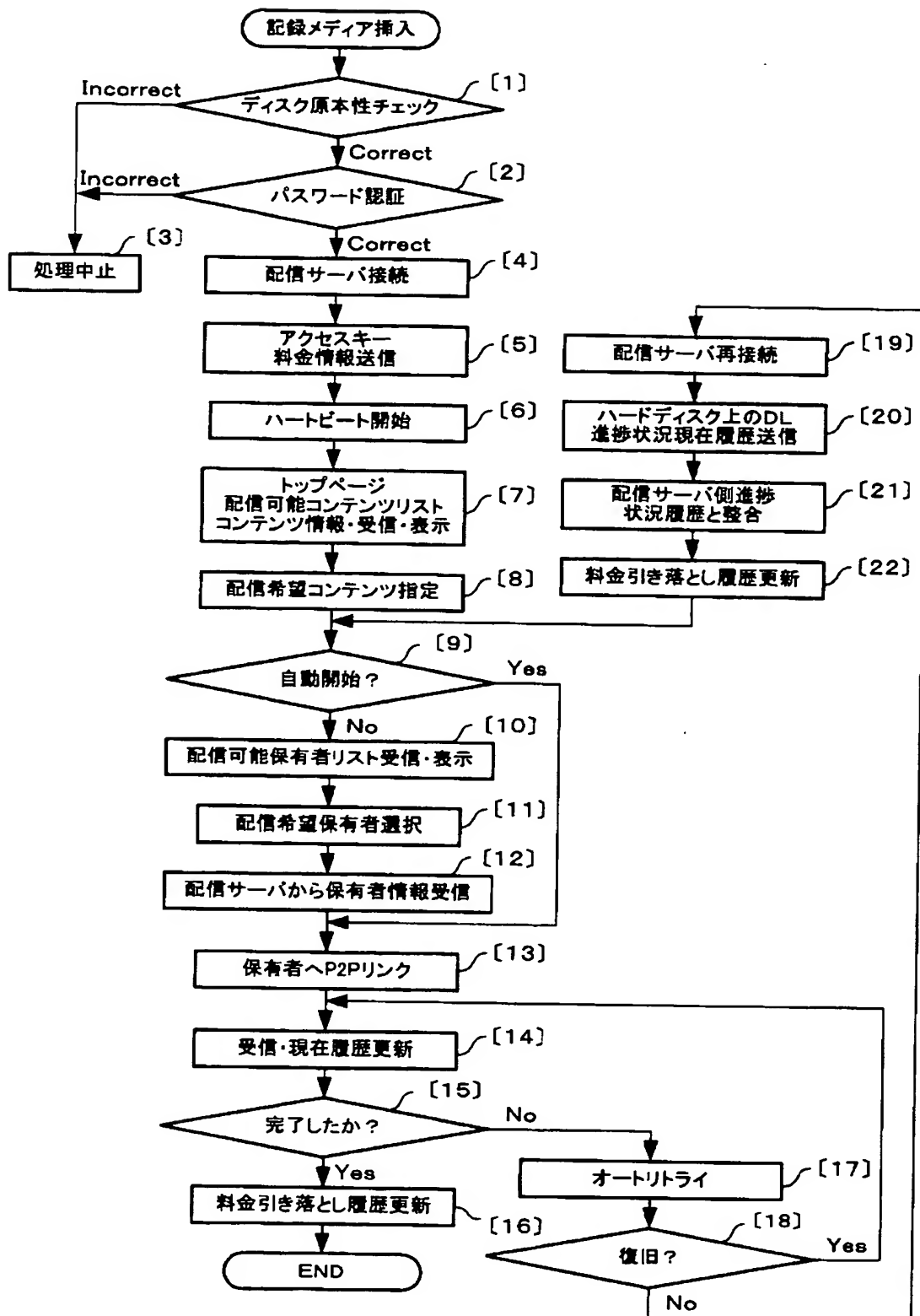
【図1】



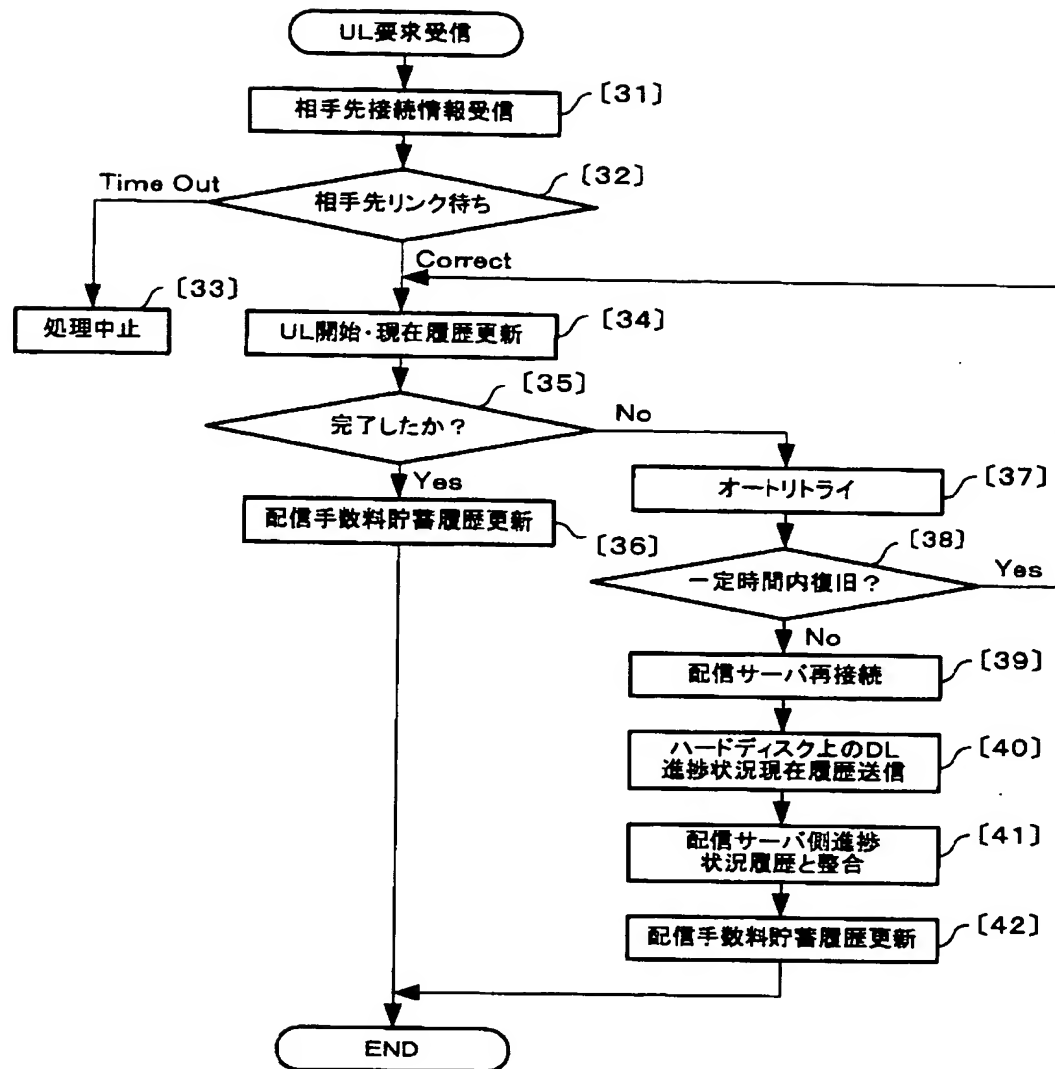
【図 2】



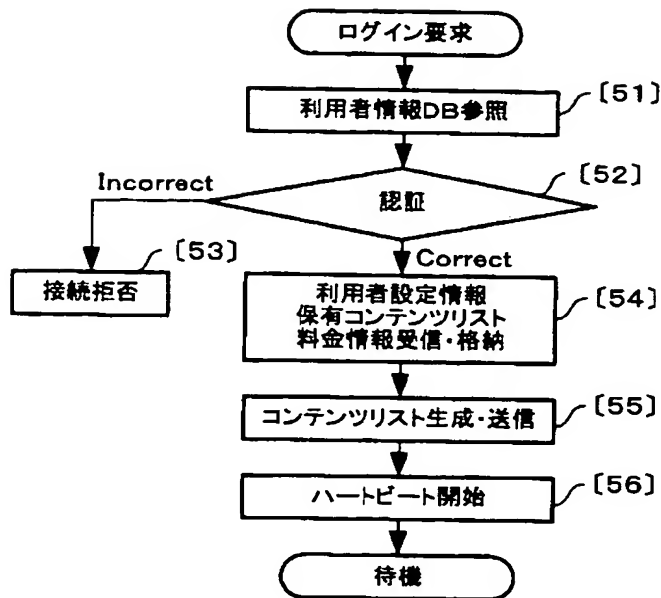
【図 3】



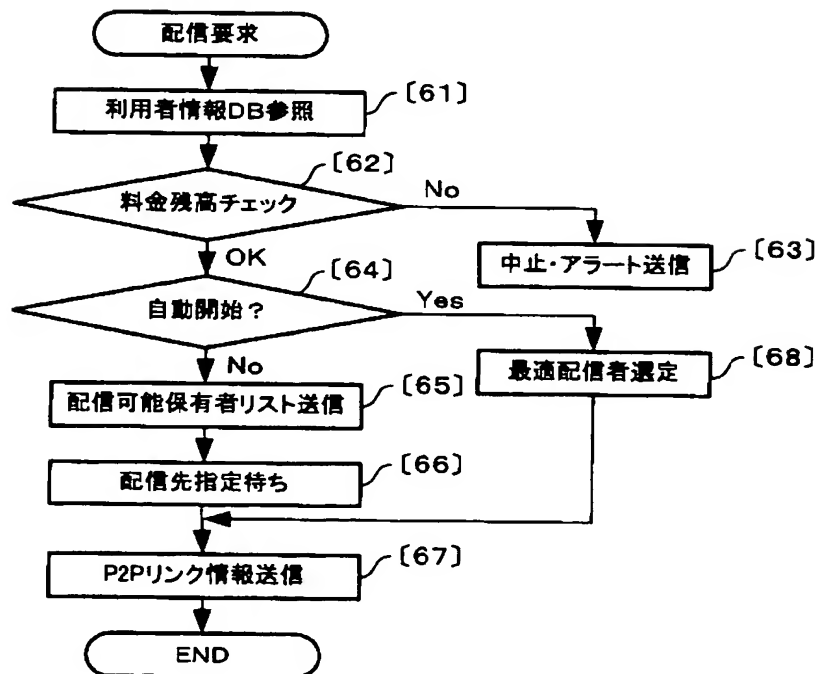
【図 4】



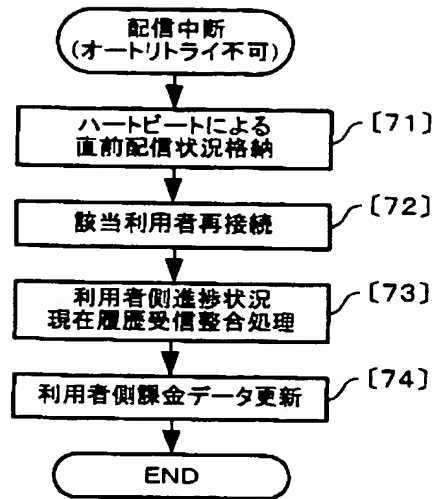
【図 5】



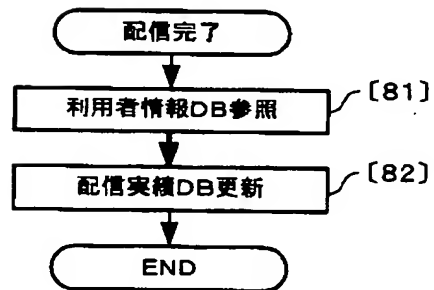
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

課金情報

イベントID	日時	金額	残高	相手	事由
E325V3124	200212091805	2000	2000	TK3265	CH0100241
D324V0159	200212100952	-500	1500	KB300213	DL09EG012
U5642K9012	200212101935	100	1600	KX100241	UL09MM020
E333V5936	200212111946	-1000	600	TK3265	PC10EY024
	.				
	.				

A

履歴

イベントID	日時	事象	相手	アイテム	リンク
Z201F302J	200212100952	DL	FH202238	03MA004	E325V3142
Z201K002L	200212101935	UL	KB300213	06YK025	D324V0159
Z201K935M	200212111946	PC	TK3265	10EY024	E333V5936
E333V5936	200212111946	CH	TK1862	-	PC10024
	.				
	.				

B

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 デジタルコンテンツの配信を良好に行うシステムを提供する

【解決手段】 インターネット 1 を介してコンテンツサーバとなる配信センター 2 と複数の利用者端末 3 A、3 B・・・3 n が相互に接続される。さらにインターネット 1 には、著作権者であるコンテンツホルダーの端末 4 と、初期の利用者の登録や直販等を行うための店頭端末 5 も接続されている。また、販売店（図示せず）にて、所定の記録メディア 6 が販売され、この記録メディア 6 が利用者端末 3 A、3 B・・・3 n に挿入されることによって、システムへのログインの制御と課金の管理が行われる。さらに、配信センター 2 には、専用線 7 を介してクレジットカードセンター等の金融機関 8 が接続される。また、この専用線 7 を通じては、コンテンツホルダーの端末 4 と配信センター 2 との間でのコンテンツの配信等も行われる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 6 5 6 8 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1. 変更年月日

2 0 0 2 年 5 月 1 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

氏 名

株式会社リコー